

三重県 クマの被害防止に向けた総合対策パッケージ

【予算額82,023千円 うち（令和7年度補正56,349千円 令和8年度当初25,674千円）】

参考1

対策区分	取組の概要	実施主体
①捕る ○緊急銃猟対応 ○問題個体の捕獲	○緊急銃猟対応 【新規】緊急銃猟による捕獲・駆除 R7補正：2,750千円 【新規】緊急銃猟に備えた実地訓練 R7補正：1,200千円 ○問題個体の捕獲 問題個体の捕獲・駆除に要する経費 R7補正：990千円 錯誤捕獲されたツキノワグマの対応 R8当初：819千円	市町 県 市町 県
②守る ○パトロール ○クマ対策関連資材の配付・整備 ○市町の取組支援 緩衝帯整備 放置果樹対策 AIカメラ ドローン等	○パトロール 【新規】クマアラート発令時に市町が実施するパトロール経費 R7補正：7,728千円 鳥獣保護管理員等 パトロール用物品支給 R7補正：2,759千円 R8当初：62千円 ○クマ対策関連資材の配付・整備 【新規】クマスプレー、電子ホイッスルの配付、クマ鈴貸出セットの設置 R7補正：8,530千円 【新規】子どもの安全確保のためのスクールガード活動に必要なクマスプレー、クマ鈴の支給 R7補正：3,408千円 【新規】熊出没時に対応する警察官の防護衣セットの整備 R7補正：11,400千円 ○市町取組支援 【新規】クマを人里に近づけないための環境整備（緩衝帯整備、放置果樹対策、AIカメラ等） R7補正：9,533千円	市町 県 県 県 市町
③知らせる ○情報発信 ○生息数調査	○情報発信 県HPでのツキノワグマ出没情報提供、クマ出没情報アプリ（けものおと2）の運用等 R8当初：558千円 長距離歩道等における注意看板の掲示、注意喚起のためのパトロールの実施（強化） R8当初：100千円 R7補正：6,026千円 ○生息数調査 ツキノワグマ生息数等調査（県内の生息数及び生息環境について調査） R8当初：20,069千円	県 県 県 県
④学ぶ ○捕獲技術の向上 ○研修会の開催	○捕獲技術の向上 【新規】緊急銃猟等を実施するための射手の技術向上 R7補正：900千円 （ライフル射撃訓練費用の補助） 【新規】捕獲者の技術向上研修 R7補正：300千円 （箱わなでの効率的な捕獲技術を学ぶ研修会） ○研修会の開催 【新規】クマ対策の先進技術研修会 （ドローンやAIカメラなど先進事例を用いたクマ対策の事例を共有、実演） R7補正：500千円 市町や警察、学校関係者等へのクマの生態などを学ぶ研修会の開催 R7補正：325千円 登山ガイド・語り部・一般県民向けの研修会の開催 R8当初：166千円	県 県 県 県 県
⑤その他	○計画策定 鳥獣保護管理事業計画等の策定 R8当初：3,900千円	県

